

令和6年度

稲敷市水道事業会計決算概要



水道事業会計

工業用水道事業会計

令和6年度 水道事業会計決算の概要

◎ 総括事項

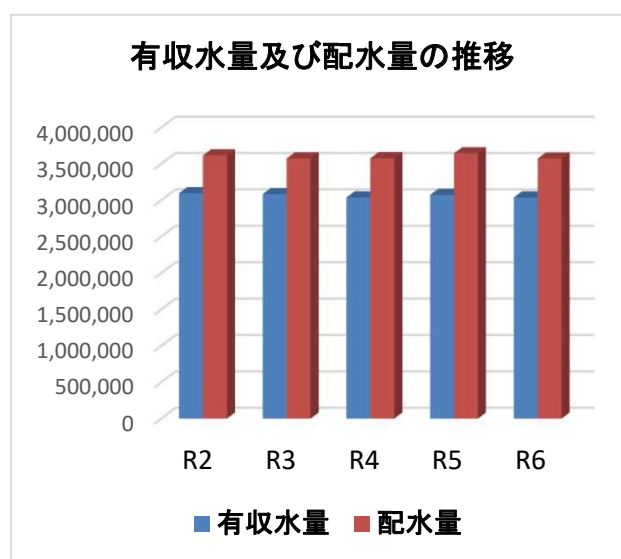
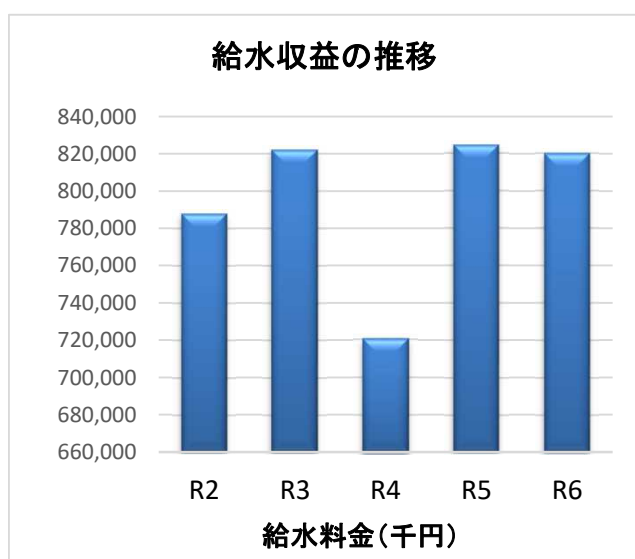
令和6年度末の給水人口は26,246人で、給水件数は11,460件、普及率では73.5%となり、前年度に比べ件数で16件の減、普及率で0.54%の減となりました。

年間配水量3,572,192^m、有収水量3,037,978^mで、有収率は85.0%となりました。

事業収益は920,181千円で、うち営業収益の給水収益は820,047千円となり、前年度に比べ0.54%の減となりました。事業費用は887,916千円で、損益では32,264千円の純利益となっております。

当年度は前年度に比べ有収水量が減少し、事業収益としては1.19%の減、事業費用で0.80%の減となりました。

資本的支出は687,817千円で、うち建設改良費は、660,435千円となり、西部増圧ポンプ場機能強化・更新工事等6件を実施しました。



◎ 業務の実績

項目	単位	令和6年度	令和5年度	増減	増減率(%)
給水区域内人口	人	35,722	36,403	△ 681	△ 1.87
給水人口	人	26,246	26,908	△ 662	△ 2.46
普及率	%	73.5	73.9	△ 0.4	△ 0.54
計画給水人口	人	43,050	43,050	-	-
給水件数	件	11,460	11,476	△ 16	△ 0.14
給水件数(一般家庭用)	件	10,645	10,661	△ 16	△ 0.15
新規加入件数(全体)	件	65	95	△ 30	△ 31.58
新規加入件数(一般家庭用)	件	45	50	△ 5	△ 10.00
導・送・配水管延長	m	593,211	591,815	1,396	0.24
配水能力	日/m ³	13,910	13,910	-	-
年間配水量	m ³	3,572,192	3,605,233	△ 33,041	△ 0.92
県水受水量	m ³	3,144,167	3,158,441	△ 14,274	△ 0.45
自己水源	m ³	583,667	604,162	△ 20,495	△ 3.39
年間有収水量	m ³	3,037,978	3,074,155	△ 36,177	△ 1.18
有収率	%	85.0	85.3	△ 0.3	△ 0.35
一日平均配水量	m ³	9,787	9,850	△ 63	△ 0.64
一日最大配水量	m ³	10,549	11,019	△ 470	△ 4.27

◎ 比較損益計算書(税抜)

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増減	増減率(%)
事業収益	920,180,689	931,238,657	△ 11,057,968	△ 1.19
営業収益	849,994,365	857,002,509	△ 7,008,144	△ 0.82
営業外収益	70,186,324	72,523,521	△ 2,337,197	△ 3.22
特別利益	-	1,712,627	△ 1,712,627	皆減
事業費用	887,916,475	895,077,780	△ 7,161,305	△ 0.80
営業費用	880,753,507	886,128,539	△ 5,375,032	△ 0.61
営業外費用	7,162,968	8,949,241	△ 1,786,273	△ 19.96
営業利益	△ 30,759,142	△ 29,126,030	△ 1,633,112	△ 5.61
経常利益	32,264,214	34,448,250	△ 2,184,036	△ 6.34
当年度純利益	32,264,214	36,160,877	△ 3,896,663	△ 10.78
前年度繰越利益剰余金	-	-	-	-
その他未処分利益 剰余金変動額	-	-	-	-
当年度未処分利益剰余金	32,264,214	36,160,877	△ 3,896,663	△ 10.78

◎ 比較貸借対照表(税抜)

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増減	増減率(%)
固定資産	5,531,538,667	5,169,341,668	362,196,999	7.01
流動資産	2,068,667,803	1,665,809,334	402,858,469	24.18
資産合計	7,600,206,470	6,835,151,002	765,055,468	11.19
固定負債	693,662,421	365,612,837	328,049,584	89.73
流動負債	613,437,991	198,339,786	415,098,205	209.29
繰延収益	1,262,585,763	1,274,862,298	△ 12,276,535	△ 0.96
資本金	3,493,694,273	3,493,694,273	-	-
剰余金	1,536,826,022	1,502,641,808	34,184,214	2.27
負債・資本合計	7,600,206,470	6,835,151,002	765,055,468	11.19

◎ 企業債

令和6年度企業債償還額は27,005,077円で、年度末未償還残高は674,755,401円となります。

未償還残高は、西部増圧ポンプ場更新及び配水管布設替のため借入れを行い、令和5年度末未償還残高と比較しますと94.9%の増となります。

企業債増減額

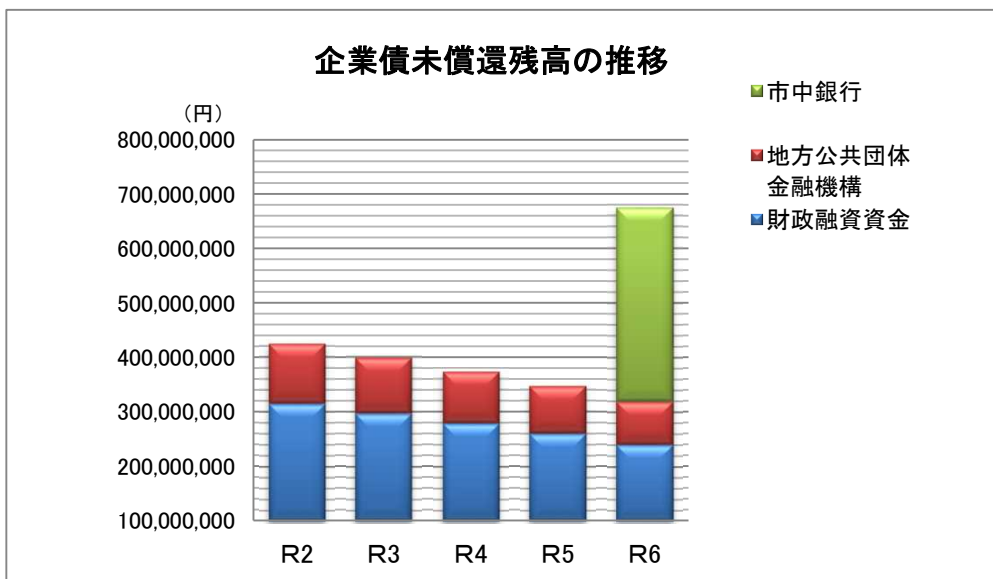
(単位:円)

項 目	発行総額	令和5年度末 残高	令和6年度		償還高累計額	令和6年度末 未償還残高
			借入額	償還額		
財政融資資金	459,600,000	259,602,637	-	19,091,613	219,088,976	240,511,024
地方公共団体 金融機構	176,200,000	86,557,841	-	7,913,464	97,555,623	78,644,377
市中銀行	355,600,000	-	355,600,000	-	-	355,600,000
合 計	991,400,000	346,160,478	355,600,000	27,005,077	316,644,599	674,755,401

未償還残高の推移

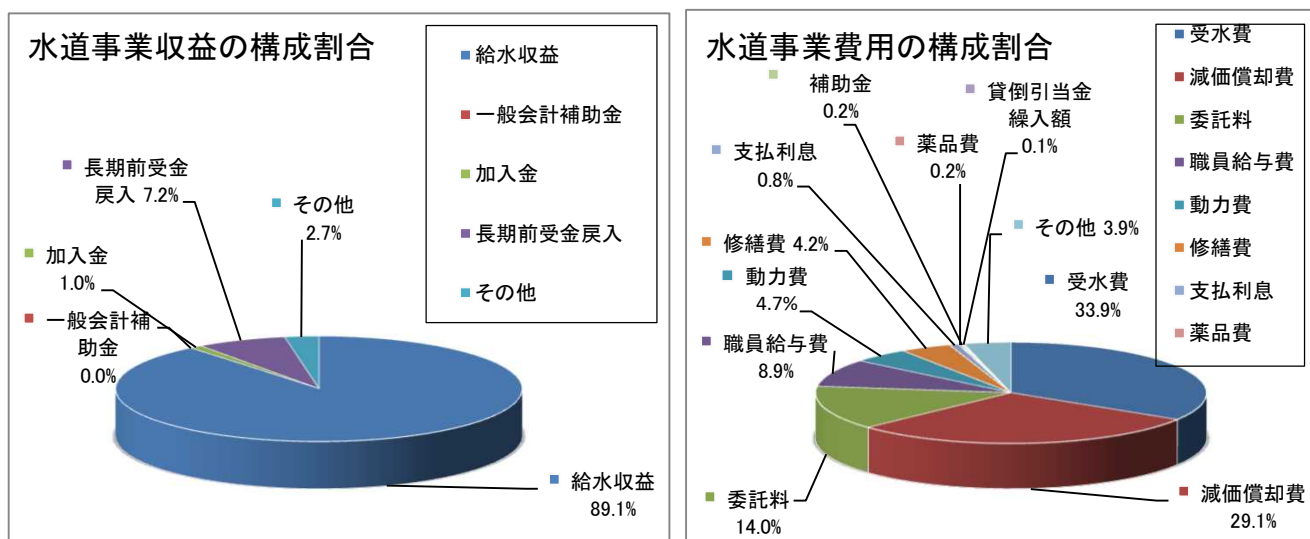
(単位:円,%)

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)-(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100
財政融資資金	314,663,252	296,671,410	278,320,296	259,602,637	240,511,024	△ 19,091,613	△ 7.4
地方公共団体 金融機構	109,348,236	101,906,546	94,310,811	86,557,841	78,644,377	△ 7,913,464	△ 9.1
市中銀行	-	-	-	-	355,600,000	355,600,000	皆増
合 計	424,011,488	398,577,956	372,631,107	346,160,478	674,755,401	328,594,923	94.9



【令和6年度収益的収支】

水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、水道事業を運営するための経費とその財源



◎ 水道事業収益の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	令和6年度(A)		令和5年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	820,047,060	89.1	824,533,640	88.5	△ 4,486,580	△ 0.54
一 般 会 計 補 助 金	120,000	0.0	840,000	0.1	△ 720,000	△ 85.71
加 入 金	9,190,000	1.0	12,965,000	1.4	△ 3,775,000	△ 29.12
長 期 前 受 金 戻 入	65,780,177	7.2	67,546,622	7.3	△ 1,766,445	△ 2.62
そ の 他	25,043,452	2.7	25,353,395	2.7	△ 309,943	△ 1.22
収 益 合 計	920,180,689	100.00	931,238,657	100.0	△ 11,057,968	△ 1.19

◎ 水道事業費用の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	令和6年度(A)		令和5年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
受 水 費	300,868,570	33.9	301,375,275	33.7	△ 506,705	△ 0.17
減 価 償 却 費	258,552,955	29.1	267,489,531	29.9	△ 8,936,576	△ 3.34
委 託 料	124,450,493	14.0	116,499,320	13.0	7,951,173	6.83
職 員 給 与 費	78,852,588	8.9	81,315,482	9.1	△ 2,462,894	△ 3.03
動 力 費	42,087,104	4.7	45,117,571	5.0	△ 3,030,467	△ 6.72
修 繕 費	37,676,967	4.2	39,648,581	4.4	△ 1,971,614	△ 4.97
支 払 利 息	6,789,251	0.8	7,323,699	0.8	△ 534,448	△ 7.30
薬 品 費	1,402,850	0.2	1,333,970	0.2	68,880	5.16
補 助 金	1,472,000	0.2	2,750,000	0.3	△ 1,278,000	△ 46.47
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,245,000	0.1	1,406,237	0.2	△ 161,237	△ 11.47
そ の 他	34,518,697	3.9	30,818,114	3.4	3,700,583	12.01
費 用 合 計	887,916,475	100.0	895,077,780	100.0	△ 7,161,305	△ 0.80

※令和5年度不納欠損処分1,515,732円

※令和6年度不納欠損処分1,344,571円

【給水原価と供給単価】

◎ 給水原価

(経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費＋長期前受金戻入))÷年間総有収水量

効率性の視点から見た指標の判断→「低い」ほうがよい

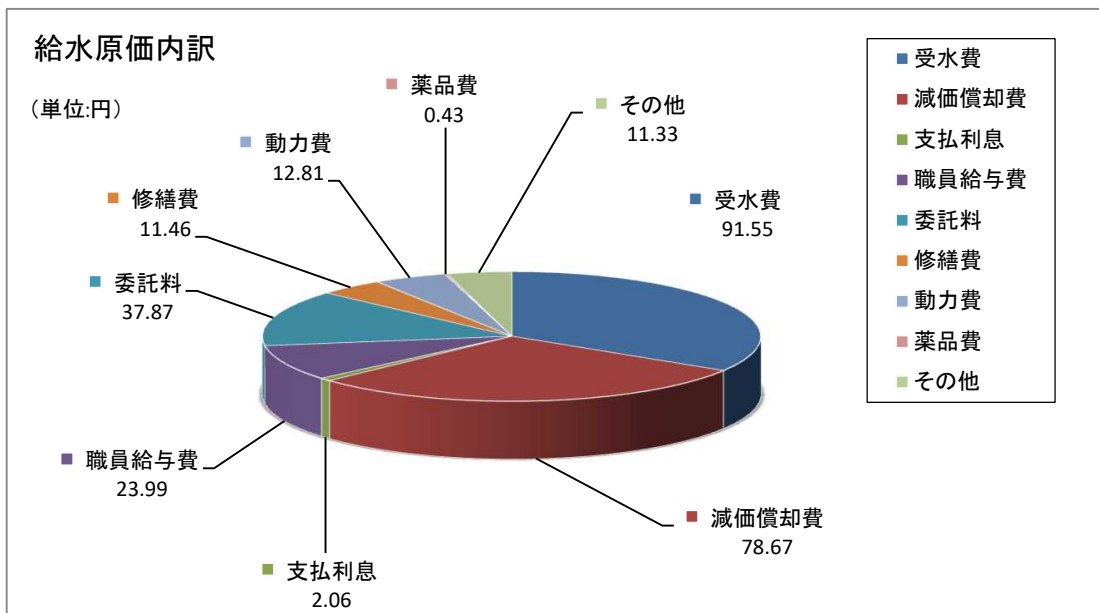
収益につながる水量1m³当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもので、1m³の水を製造するのにいくらかかるかを示す指標です。水道の生産原価を示しています。

・給水原価とその内訳

給水原価の使途はグラフのとおりです。給水原価270.17円のうち受水費と減価償却費が63.00% (170.22円)を占めています。

(単位:円/m³)

区 分	6年度	5年度	4年度	3年度
給水原価(A)	270.17	268.74	278.22	258.22



◎ 供給単価

給水収益÷年間総有収水量

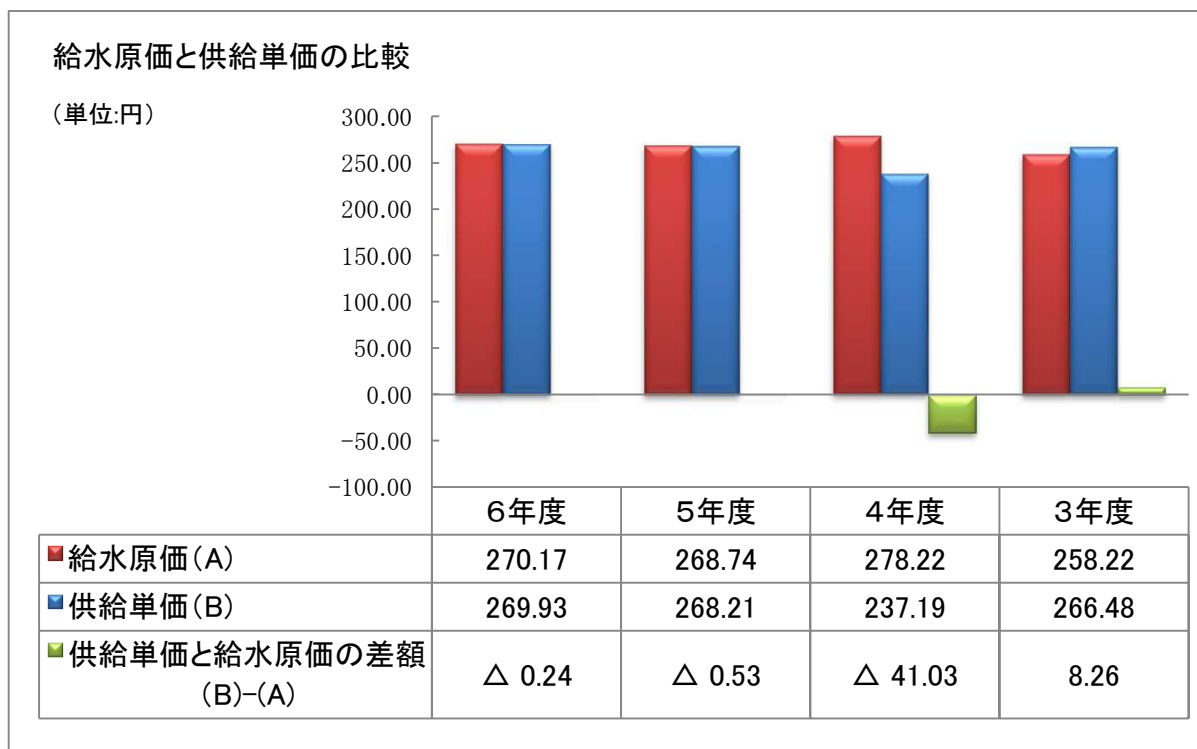
効率性の視点から見た指標の判断→「高い」ほうがよい

有収水量1m³当たりについてどれだけ収益を得ているかを表すもので、1m³の水を供給したときの平均収入額を見る指標です。

区 分	6年度	5年度	4年度	3年度
供給単価(B)	269.93	268.21	237.19	266.48

◎ 給水原価と供給単価の比較

1m³当たりの水を供給するのにかかる費用と1m³当たりの水道料金の平均収入を比較することにより、原価回収されているかをみることができます。供給単価と給水原価の差が、プラスになると利益が出ていることになります。「給水原価」が「供給単価」を上回っている場合は、給水にかかる費用を補うのに水道料金以外の収入が必要な状況にあるといえます。



【経営分析】

◎ 財務分析表

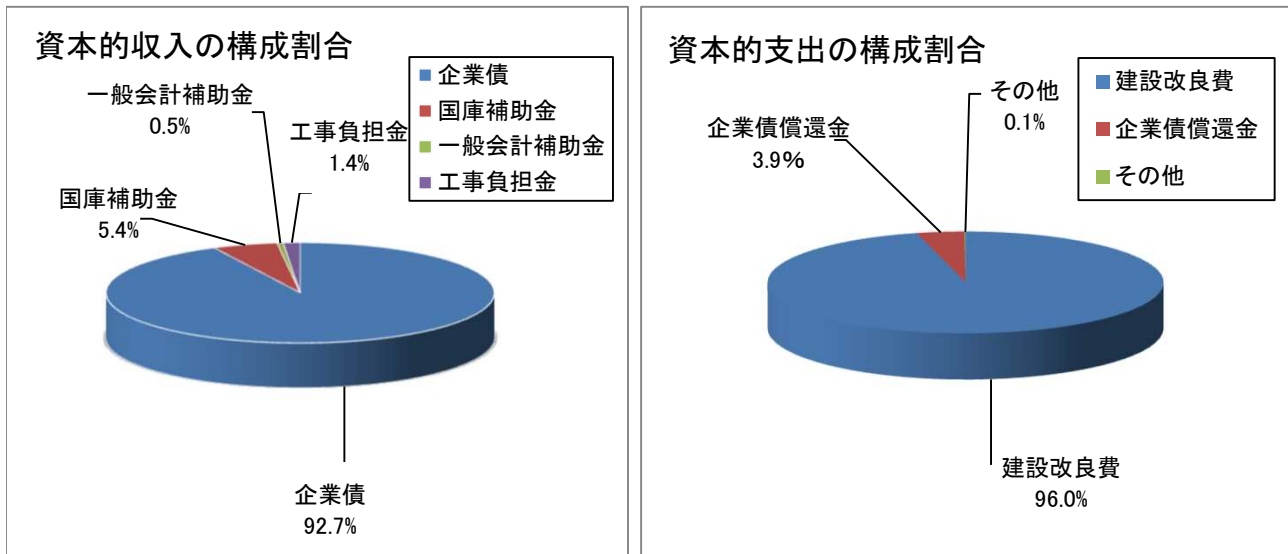
分析項目	令和6年度	令和5年度	県平均 (5年度参照)	解説
1. 自己資本構成比率(%)	82.8	91.7	65.7	総資本に対する自己資本金の占める割合。経営の安定性を判断する指標。
2. 固定資産対長期資本比率(%)	79.2	77.9	89.2	固定資産の調達が長期資本の範囲でまかなわれているかを示し、低いほど安定性が高く100%以下が望ましい。
3. 流動比率(%)	337.2	839.9	327.5	企業の支払い能力を示す。
4. 総収支比率(%)	103.6	104.0	111.2	総費用に対する総収益の割合。総収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
5. 経常収支比率(%)	103.6	103.8	111.1	経常費用に対する経常収益の割合。経常収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
6. 営業収支比率(%)	96.5	96.7	101.9	業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。
7. 企業債償還額対減価償却比率(%)	10.4	9.9	59.1	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却を比較したものである。
8. 給水収益に対する比率(%)				
(1) 企業債償還元金	3.3	3.6	21.9	料金収入に対して企業債償還額の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(2) 企業債利息	0.8	1.1	3.8	料金収入に対して企業債利息の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(3) 減価償却費	31.5	40.2	37.0	料金収入に対して減価償却の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(4) 職員給与費	9.6	11.1	7.9	料金収入に対して職員給与費の比率を表したものの。比率は低いほど良好。

◎ 経営分析表

分析項目	令和6年度	令和5年度	県平均 (5年度参照)	解説
1. 施設利用率(%)	70.3	70.8	68.6	配水能力に対する平均の割合を示し、施設の利用度を見るものである。比率は大きいほど良い。
2. 負荷率(%)	91.6	89.4	90.2	施設が年間を通じて有効に使用されているかを示す。比率は大きいほど良い。
3. 最大稼働率(%)	76.8	79.2	76.0	配水能力に対する最大配水量の割合を示し、この率が極端に低いと過大投資を示し、逆の場合は施設の拡充が必要である。
4. 配水管使用効率(m ³ /m)	6.0	6.1	12.4	配水管使用効率は、導・送・配水管の布設延長に対する年間総配水量の割合であり、給水区域の人口密度の影響を受ける。数値が高いほどよいとされている。
5. 固定資産使用効率(m ³ /万円)	6.5	7.1	6.3	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。この比率が高いほど施設が効率的であり、低い場合には遊休資産・未稼働資産についての検討を要する。
6. 供給単価(円/m ³)	269.9	268.2	200.8	有収水量1m ³ 当たりにとりだけの収益を得ているかを表す。
7. 給水原価(円/m ³)	270.2	268.7	194.1	有収水量1m ³ 当たりにとりだけの費用がかかっているかを表す。
8. 職員1人当の給水人口(人)	2,187	2,446	4,432	
9. 職員1人当の有収水量(千m ³ /人)	253	279	455	人的資源が効率的に活用されているか否かを示す指標であり、数値が大きいほど職員1人当たりの生産性が高いことを示している。
10. 職員1人当の営業収益(千円)	70,833	77,909	99,538	

【令和6年度資本的収支】

水道事業会計のうち、水道施設を建設・整備するための経費とその財源



◎ 資本的収入の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	令和6年度(A)		令和5年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
企 業 債	355,600,000	92.7	-	-	355,600,000	皆増
国 庫 補 助 金	20,750,000	5.4	4,152,000	59.4	16,598,000	399.76
一 般 会 計 補 助 金	1,920,000	0.5	1,980,000	28.3	△ 60,000	△ 3.03
工 事 負 担 金	5,317,000	1.4	860,000	12.3	4,457,000	518.26
資 本 的 収 入 合 計	383,587,000	100.0	6,992,000	100.0	376,595,000	5,386.08

◎ 資本的支出の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	令和6年度(A)		令和5年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
建 設 改 良 費	660,435,076	96.0	219,089,106	89.2	441,345,970	201.45
企 業 債 償 還 金	27,005,077	3.9	26,470,629	10.8	534,448	2.02
そ の 他	377,099	0.1	-	-	377,099	皆増
資 本 的 支 出 合 計	687,817,252	100.0	245,559,735	100.0	442,257,517	180.10

◎ 資本的収支の不足額 (税込)

(単位:円)

科 目		令和6年度(A)	令和5年度(B)	増減(A)-(B)
資 本 的 収 支 不 足 額		304,230,252	238,567,735	65,662,517
補 填 財 源 内 訳	過年度分損益勘定留保資金	244,407,792	218,696,611	25,711,181
	当年度分損益勘定留保資金			-
	減 債 積 立 金			-
	建 設 改 良 積 立 金			-
	そ の 他 (当年度消費税資本的収支調整額)	59,822,460	19,871,124	39,951,336

◎ 工事概況

(1) 建設改良工事の概況

(単位:円)

	工事名	施工内容	契約金額(税込)
令和5年度繰越 建設改良工事	西部増圧ポンプ場機能強化及び 更新工事	機械設備工事一式 電気計装設備工事一式 構造物改修工事 基礎工事一式	383,137,040
	R5稲水 東浄水場電気設備更新工事	電気設備工事一式 ・高圧気中開閉器 ・高圧キュービクル	57,530,000
令和6年度 建設改良工事	R6稲水 東浄水場非常用自家発電設備 更新工事	非常用自家発電設備工事一式 ・非常用ディーゼル発電機 ・電源制限盤	95,795,920
	R6稲水 時崎地区配水管布設替工事	ダクタイル鋳鉄管GX形 φ200 L=156.9m ダクタイル鋳鉄管GX形 φ100 L=16.2m 水管橋SUS φ200 L=43.9m	74,338,000
	R6稲水 福田地区配水管布設替工事	ダクタイル鋳鉄管GX形 φ200 L=122.0m 配水用ポリエチレン管 φ100 L=7.8m 配水用ポリエチレン管 φ75 L=154.0m 水管橋SUS φ100 L=10.4m	45,815,000
	R6新川増圧ポンプ場配水池水位計 更新工事	水位計一式	4,070,000

令和6年度 工業用水道事業会計決算概要

◎ 総括事項

令和6年度末に事業を廃止するため上水道への切替工事等を実施し、令和7年2月28日をもって供給を停止しました。年間契約水量は64,440m³、年間配水量は27,972m³で、有収水量は27,021m³となりました。

事業収益は36,506千円で、うち給水収益については4,325千円となり、前年度に比べ41.8%の減少となりました。事業費用は104,326千円で、損益では67,819千円の純損失となっております。

◎ 業務の実績

項目	単位	令和6年度	令和5年度	増減	増減率(%)
給水事業所数	件	-	7	△ 7	皆減
配水能力	日/m ³	-	870	△ 870	皆減
導・送・配水管延長	m	-	1,884	△ 1,884	皆減
年間配水量	m ³	27,972	39,881	△ 11,909	△ 29.9
年間有収水量	m ³	27,021	38,565	△ 11,544	△ 29.9
有収率	%	96.6	96.7	△ 0.1	△ 0.1
年間契約水量	m ³	64,440	113,460	△ 49,020	△ 43.2
一日平均契約水量	m ³	193	310	△ 117	△ 37.7
一日平均配水量	m ³	84	109	△ 25	△ 22.9
一日最大配水量	m ³	199	242	△ 43	△ 17.8

◎ 比較損益計算書(税抜)

(単位:円)

科目	令和6年度	令和5年度	増減	増減率(%)
事業収益	36,506,880	9,003,263	27,503,617	305.5
営業収益	4,325,779	7,436,286	△ 3,110,507	△ 41.8
営業外収益	22,469	1,566,977	△ 1,544,508	△ 98.6
特別利益	32,158,632	-	32,158,632	皆増
事業費用	104,326,290	5,097,626	99,228,664	1946.6
営業費用	3,004,016	5,097,626	△ 2,093,610	△ 41.1
特別損失	101,322,274	-	101,322,274	皆増
営業利益	1,321,763	2,338,660	△ 1,016,897	△ 43.5
経常利益	1,344,232	3,905,637	△ 2,561,405	△ 65.6
当年度純利益(純損失)	△ 67,819,410	3,905,637	△ 71,725,047	△ 1836.4
前年度繰越利益剰余金	-	-	-	-
その他未処分利益剰余金変動額	-	-	-	-
当年度未処分利益剰余金	△ 67,819,410	3,905,637	△ 71,725,047	△ 1836.4

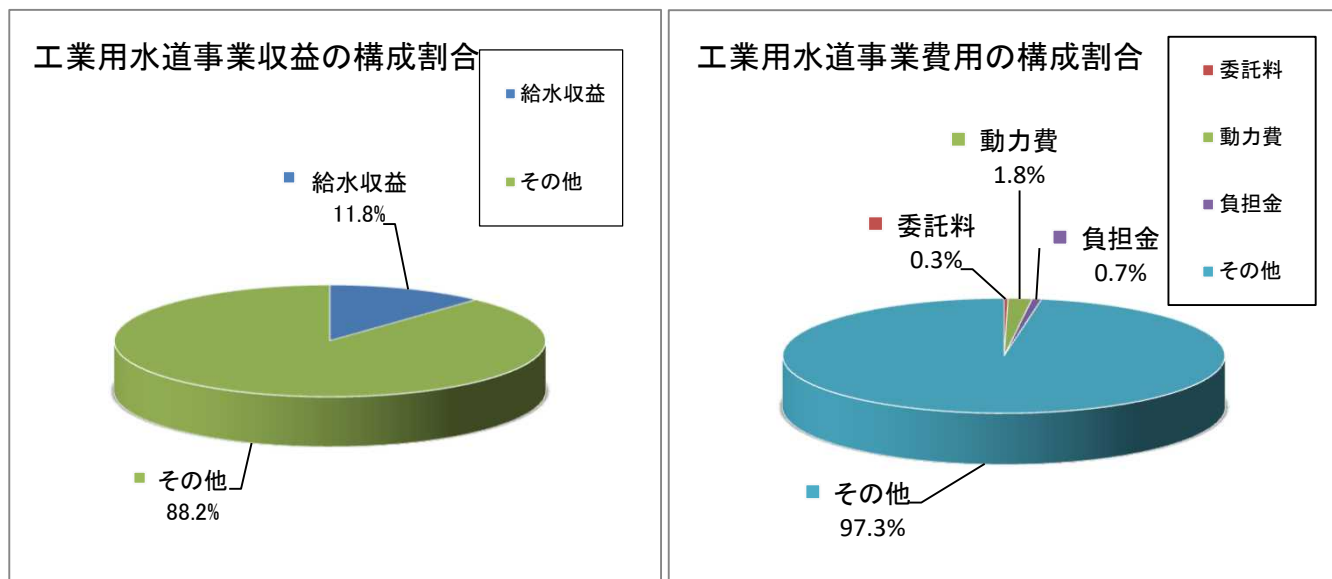
◎ 比較貸借対照表(税抜)

(単位:円)

科目	令和6年度	令和5年度	増減	増減率(%)
固定資産	-	42,332,774	△ 42,332,774	皆減
流動資産	90,031,382	157,359,815	△ 67,328,433	△ 42.8
資産合計	90,031,382	199,692,589	△ 109,661,207	△ 54.9
固定負債	-	6,200,000	△ 6,200,000	皆減
流動負債	718,806	10,401,971	△ 9,683,165	△ 93.1
繰延収益	-	25,958,632	△ 25,958,632	皆減
資本金	96,976,488	96,976,488	-	-
剰余金	△ 7,663,912	60,155,498	△ 67,819,410	△ 112.7
負債・資本合計	90,031,382	199,692,589	△ 109,661,207	△ 54.9

【令和6年度収益的収支】

工業用水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、工業用水道事業を運営するための経費とその財源



◎ 工業用水道事業収益の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	令和6年度(A)		令和5年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	4,325,779	11.8	7,436,286	82.6	△ 3,110,507	△ 41.8
長期前受金戻入	-	-	1,564,488	17.4	△ 1,564,488	皆減
そ の 他	32,181,101	88.2	2,489	0.0	32,178,612	1,292,832.9
収 益 合 計	36,506,880	100.0	9,003,263	100.0	27,503,617	305.5

◎ 工業用水道事業費用の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	令和6年度(A)		令和5年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
減価償却費	-	-	1,564,488	30.7	△ 1,564,488	皆減
委 託 料	288,709	0.3	1,143,440	22.4	△ 854,731	△ 74.8
動 力 費	1,826,754	1.7	1,752,466	34.4	74,288	4.2
負 担 金	716,716	0.7	476,285	9.3	240,431	50.5
そ の 他	101,494,111	97.3	160,947	3.2	101,333,164	62,960.6
費 用 合 計	104,326,290	100.0	5,097,626	100.0	99,228,664	1,946.6